



ギボシをテラコッタの鉢に。ポットから鉢に植え替えると美しさが引き立つ



始めよう+ガーデニング お気に入りの鉢を リサイクル

指導：園芸研究家 中道徹三郎さん
協力：ガーデニングショップ金久
大阪府泉佐野市日根野2545
☎0724-67-2413
<http://www.eonet.ne.jp/~tetsu-naka>

使い捨てにされることが多かった植木鉢。最近では植木鉢を捨てるのも大変です。お気に入りの良質の鉢をじっくり使いましょう。

✦通気性を気にせず色々な鉢を

最近では、花壇苗や普通の鉢物はもちろん、特に水はけを好む洋ランや盆栽の苗などでもポリエチレンやプラスチックなど、通気性を持たない鉢で栽培されています。

これは、ピートモスやパーライト、ヤシ殻など、通気性の良い用土が簡単に手に入るようになったから。これからは植木鉢の通気性を気にせず、思い切って、色々なデザインや形状の鉢を使って育ててみませんか。壊れやすいプラスチックの鉢より、重厚で長持ちする陶製の植木鉢が流行しています。

✦おしゃれなデザインを生かす

様々な素材やデザインの植木鉢を上手に使うコツ

・パーライトや軽石、発泡スチロールなどを底にたっぷり入れて水はけを良くし、良質の培養土を使う。

・鉢のデザインに合わせた寄せ植えを。

・クリスマスローズ、コニファー、バラなど大株にして長く楽しむ植物には、高級テラコッタ鉢を使ってじっくりと育てる。

・多肉植物や緑一色の観葉植物にはカラフルな化粧鉢を使う。モダンな感じになり、植物と鉢の両方のデザイン性が楽しめ、緑の美しさも引き立つ。
・盆栽の鉢に洋花を植える和洋折衷もおしゃれです。

✦お気に入りの鉢を繰り返し使う

品質の良い植木鉢は繰り返し使ううちにだんだん愛着がわいてきます。モダンな陶製の化粧鉢はうわぐすりが掛かっている汚れが付きにくいのも利点。テラコッタは肥料のシミやコケが付きやすいですが、それも味わいになります。

再利用のコツはたっぷり水をかけてタワシでしっかり洗うこと。汚れがひどい場合は中性洗剤を使います。1週間ほど天日で完全に乾かすと万全。種類の違う植物はそのまま使っても案外、大丈夫です。



- 1 テラコッタ：園芸が盛んなイギリスのウィッチフォード社製。手作りの重厚な味わいがあり10年以上の耐久性がある
- 2 金属製：熱が伝わりやすいが、今までにない鉢の感触が斬新
- 3 化粧鉢：色合いだけでなくモダンな形も楽しめる